

二車線走行

ルームミラー・サイドミラー

ミラーは人や車種により見え方が変わりますので、必ず確認しましょう。



前後に車 1 台分も空いていない（斜め後ろにいる）



前後に車 1 台分



前後に車 2 台分



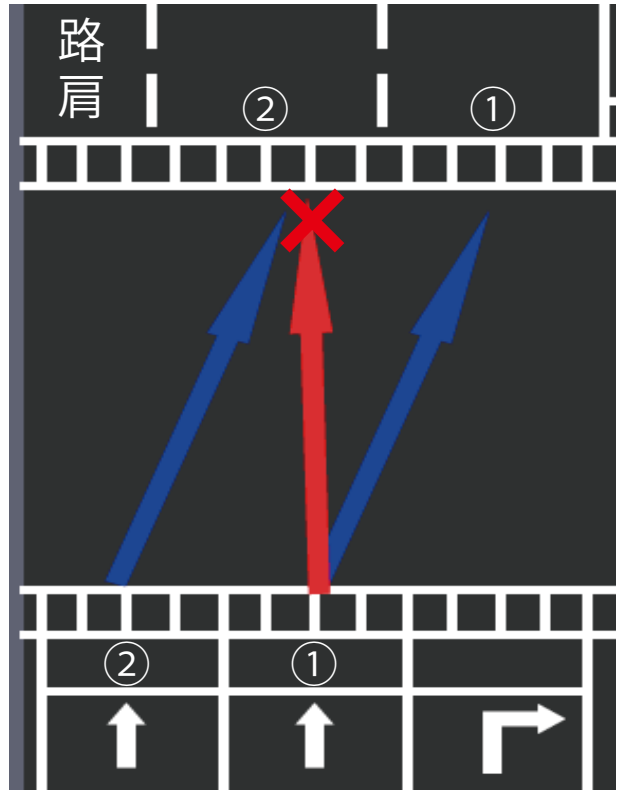
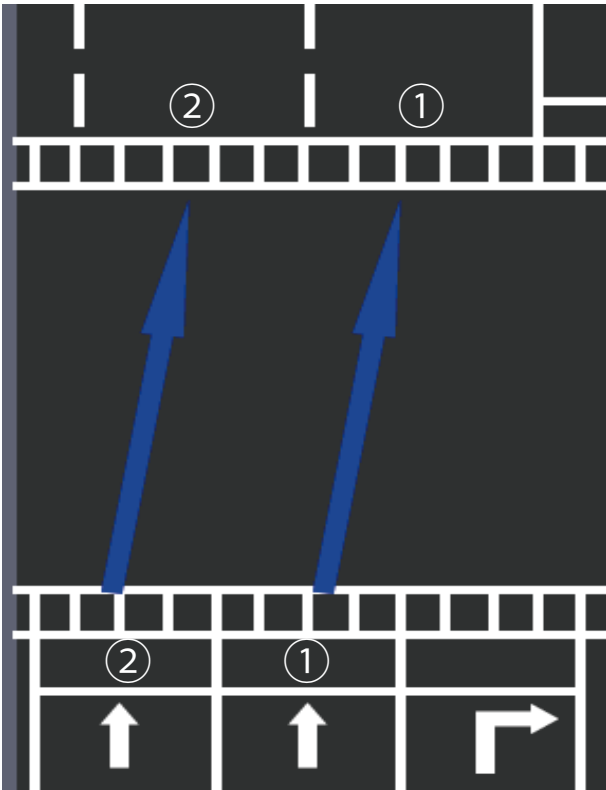
前後に車 3 台分

ルームミラーにもサイドミラーにも映らない時は真横にいる可能性があります。

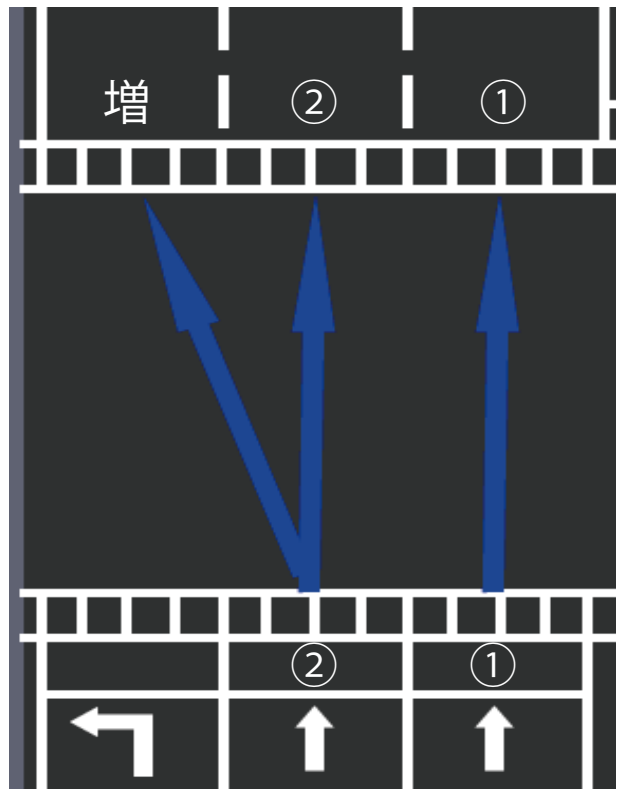
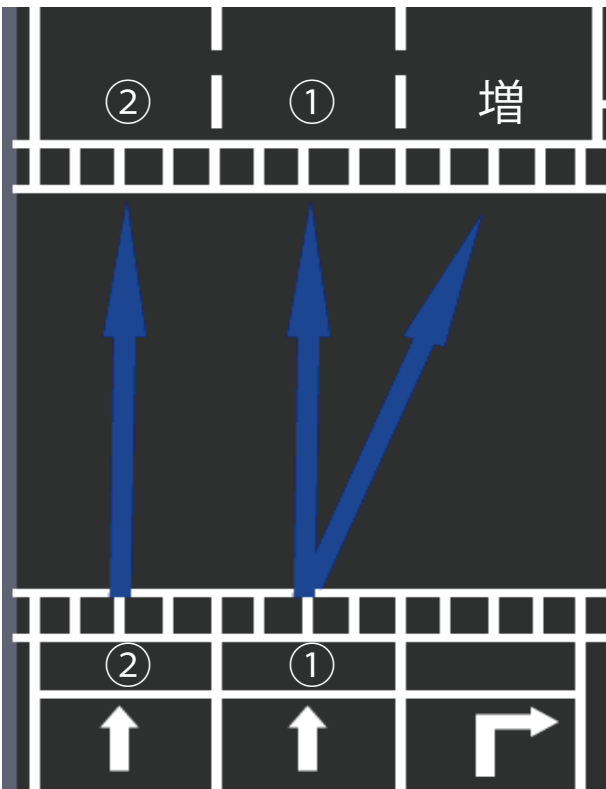
ハンドルを切る前見る（目視）を徹底しましょう！

二車線走行

車線の把握



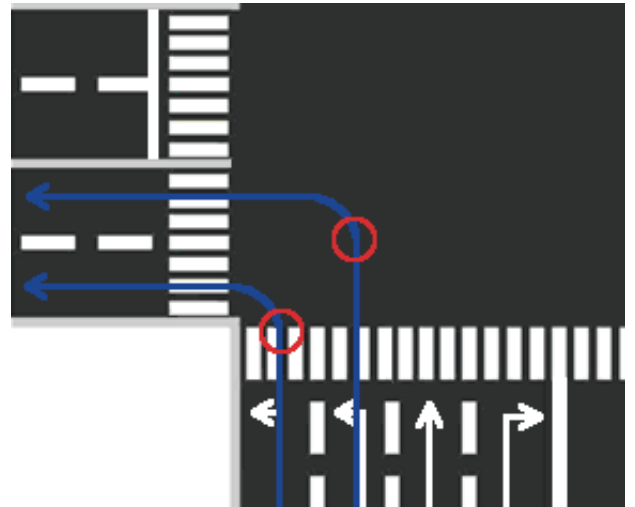
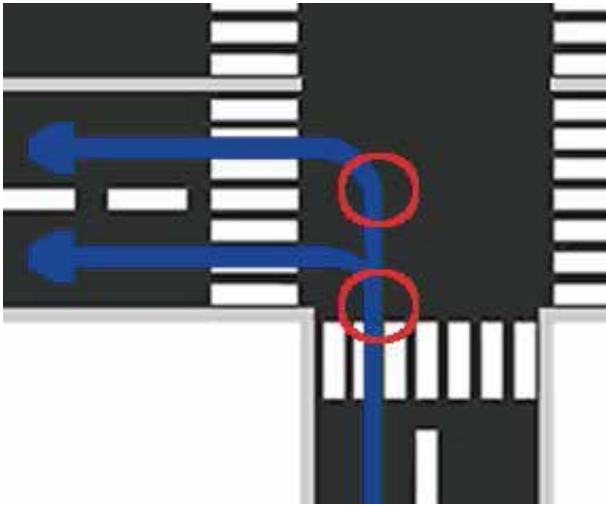
通常は左から第1車線と左から右へと数えますが、実際は路肩などあり判断が難しいので、右から数えてみましょう。右折車線は数えず直進のみで右から数えます。右の図のように路肩が広がりクランクになっている交差点もあります。赤矢印のようにまっすぐ進むと2車線目から来た車両と衝突してしまいます。路面にガイドラインなどが表示されている場合もありますので、道路面にも目を配りましょう。



交差点の先で車線が増えています。車線が増えた場合上記の矢印のようにいける車線が限定されます。増えた側の車線がどちらでも向かって良いということです。ですが、先に進むといずれは左折専用だったり右折専用になることが大半です。

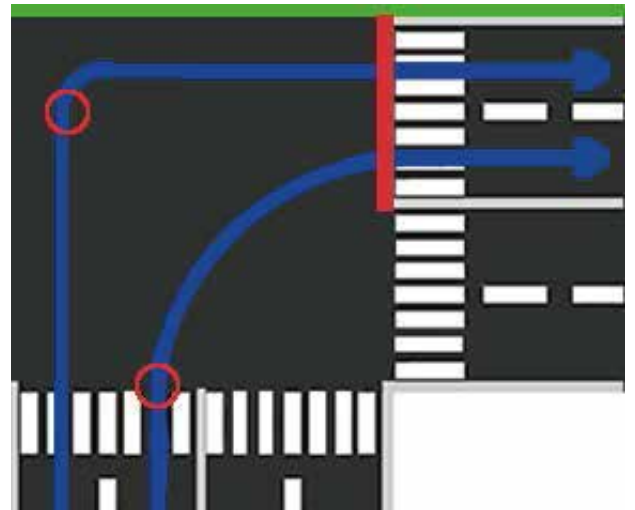
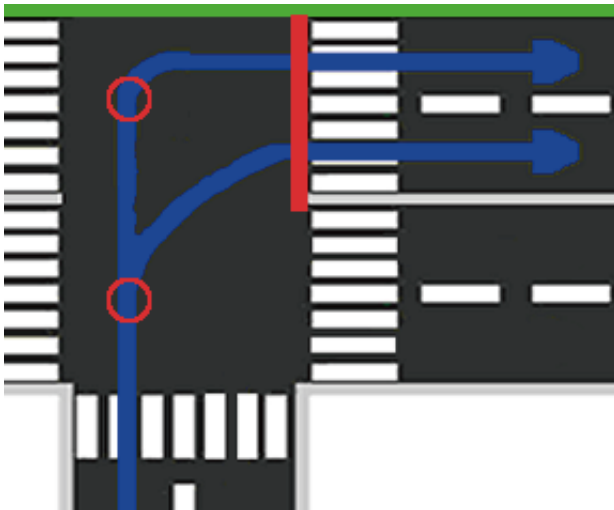
二車線走行

2車線での右左折 左折



どちらの車線に入るかにより起点が変わってきます。最初から狙っている車線に入れるようにイメージしましょう。2車線の左折専用がある場合は入れる車線が限定されます。

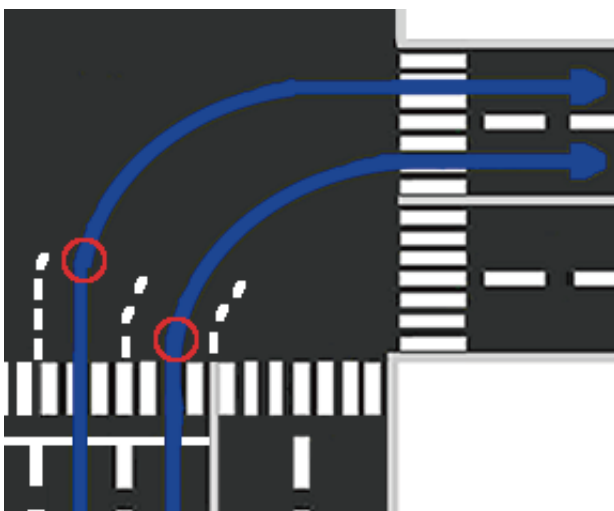
T字路の右折



歩行者がいた場合、カーブの途中で止まらず横断歩道手前で一時停止しましょう。

右から2車線目を狙う場合は、少し直角的なイメージ作りをしましょう。

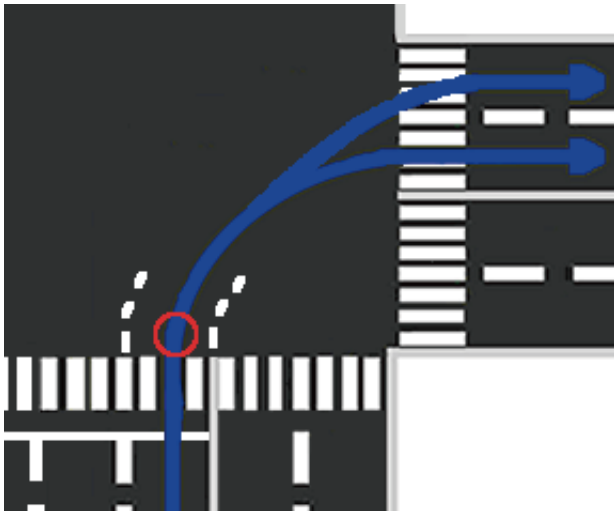
右折



2車線の右折専用がある場合は入れる車線が限定されます。路面にガイドラインなどありますので、下にも注意が必要です。

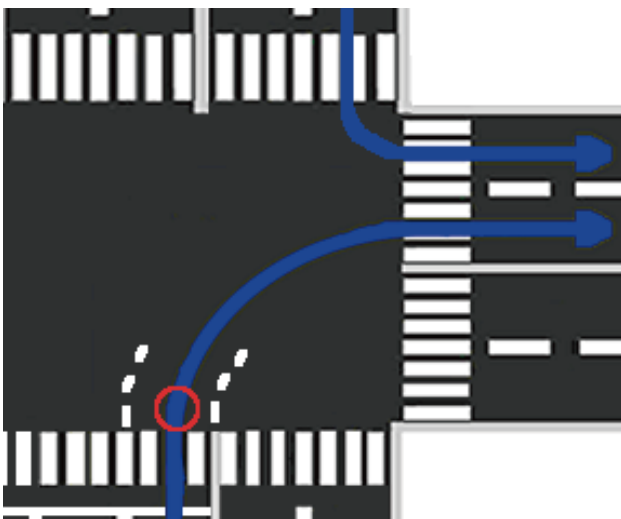
二車線走行

2車線での右左折 右折



1車線から2車線への右折は直進車両と左折車両に注意しながら、どちらの車線でも入れます。

左折と右折が同時に進行する場合（両方向とも直進禁止の場合）



左折・・・右から2車線目を狙い曲がっていく。
右から1車線目を狙う場合は、対向車の右折車が強引にくる場合がありますので注意しましょう。

右折・・・右から1番目を狙い、対向車の左折車の動きに気を配りながら、狙っていきましょう。

両方向とも横断歩道は青ですので、気を付けましょう。

右折でどこに入っていかわからなくなる場合



曲がる方向に停止線や矢印標示がある車線へ入ってはいけません。

二車線走行（二車線でよく見る標識標示）

標識と表示



転回禁止



幅員減少



合流

短く太い車線は本線車道と合流（加速車道）・分岐（減速車道）を区別する車線です。

二車線走行（二車線でよく見る標識標示）

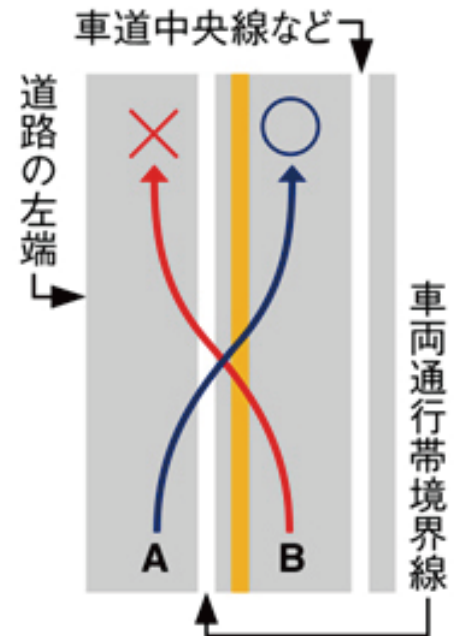
標識と表示



車線の矢印

交差点内にはガイドラインもありますので、下の標示も注意してください。

黄色い実線は車線変更禁止



車線の種類



- 短く太い線・・・合流や分岐（本線を区別する）
- ひし形の線・・・導流レーンマーク（減速目的）
- 短く細い線・・・ガイドライン（右折や直進補助）
- 長く細い破線・・・車線
- 白い実線・・・車線
- 黄色い実線・・・車線（車線変更・はみ出し禁止）



制限速度

二車線走行（二車線でよく見る標識標示）

標識と表示



交差点までの距離が書いてある場合はまだまだです。車線変更の準備区間です。
距離が出てこなかったらまもなくです。(1個目か2個目の信号)



上馬や大森に行くには側道にそれてから
右左折しなくては行けません。
右車線にいると日本橋の直進のみです。

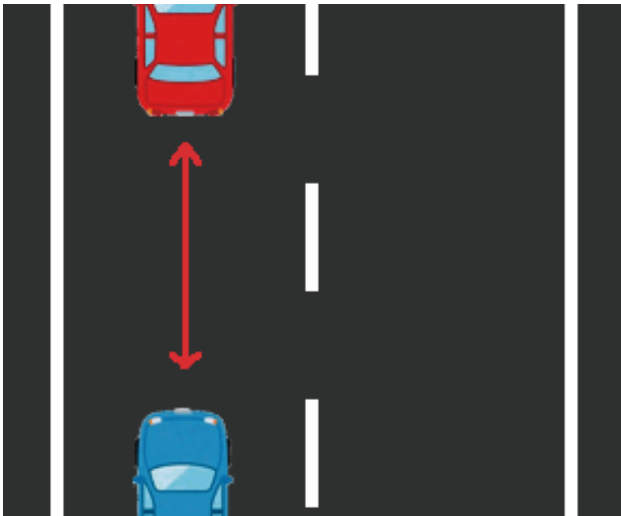


横浜に行くには左車線にいて左折すると行けます。
五反田に行くには右折すると行けます。

写真のように右方向に行きたいからと
右車線にいると行けない場合があります。
案内看板をなるべく早く発見して
車線変更にあれましょう。

二車線走行（速度）

加速と速度維持



前の車に3台分ぐらい車間を取りついていくようなイメージで加速の練習をしましょう。

***前車がスピード違反していたらついていてはダメです。**

アクセルを一気に踏むのではなく、徐々に段階をつけて踏み込んでいきましょう。

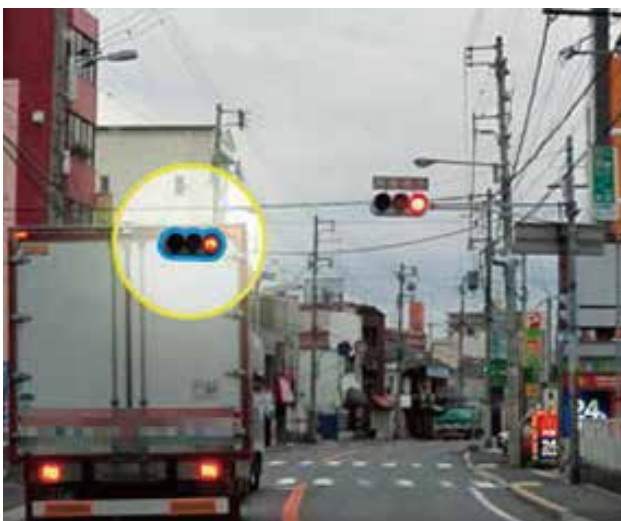


制限速度まで加速したら、速度を維持しなくてはなりません。メーターの見方としては、前方が安全な状況でチラッと見るイメージです。

***カーブなどではメーターは見ないように！**速度が出たらアクセルを全部離すのではなく、1段上げてキープするイメージで踏み続けて速度維持します。

慣れてきたら景色の流れなどから速度をイメージしてみましょう。

車間距離

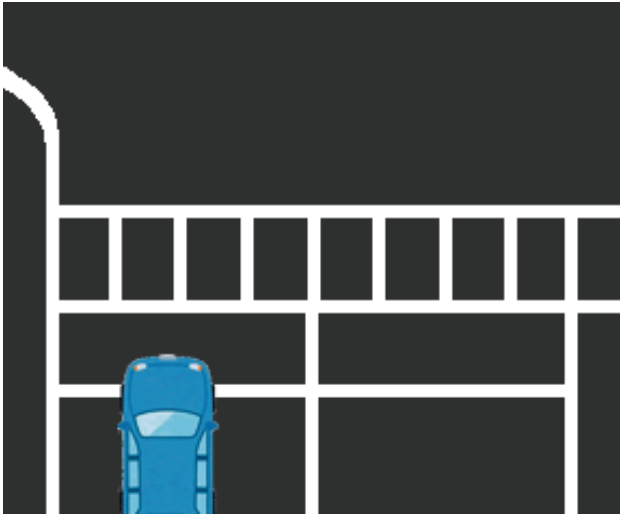


2車線では50m以上出ています。車間距離としては車3台分を目安にして5台先以上の状況も見えるようにしましょう。

バスや大型トラックが前方にいる場合信号が見えにくいので、4台分以上の車間距離を取りましょう。

二車線走行（速度の管理）

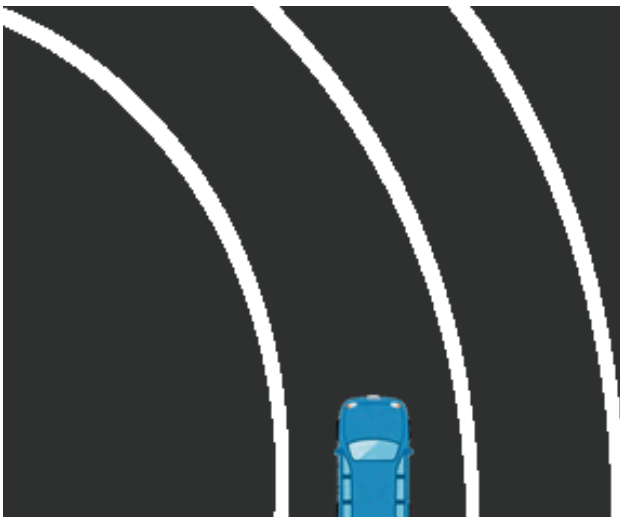
交差点の減速



交差点の右左折では、速度が出ているので

ウインカー早めに出して
減速早めにしていきましょう

カーブの減速



カーブが近づいて来たら、アクセルを放し
エンジンブレーキを使い

落とし過ぎに気を付けましょう。

カーブがきつかったら、

1～2段階のブレーキを使い減速しましょう。

*減速はカーブの手前で終わらせ、カーブの最中は
なるべく踏まないように心がけましょう。

アップダウン



車道には上り坂・下り坂があります。

緩やかだと築かないうちに速度が変わってしまいます。

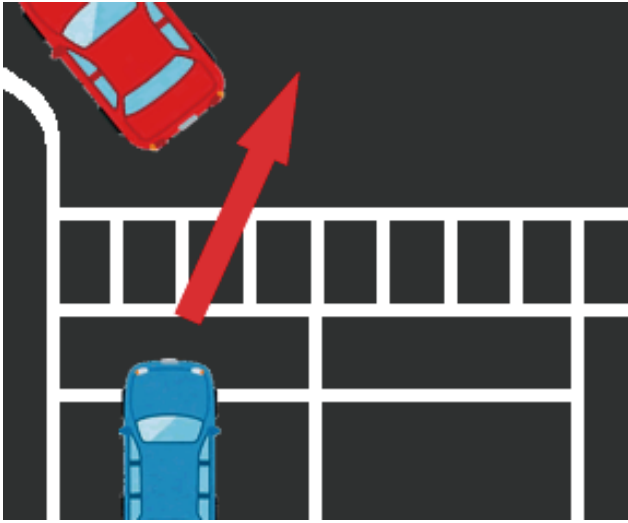
上り坂ではしっかりと踏み込む

下り坂ではエンジンブレーキを使う。

場合によりブレーキを使う。

二車線走行（障害物の対応）

左折車・停車車両・バスの対応

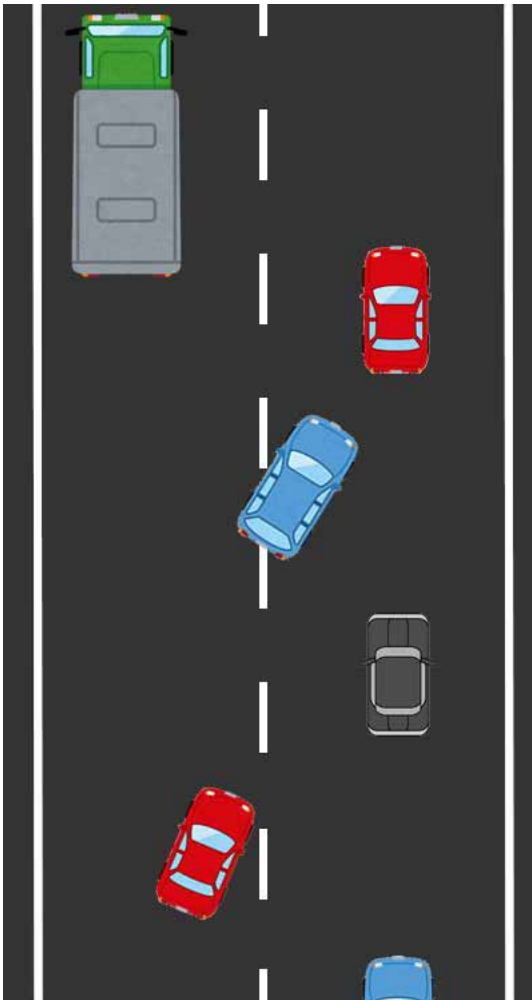


交差点で左折する車両がいます。
横断歩道で止まる可能性があります。
速度が出ていると確認もせずにはみ出て
抜いてしまう失敗

最初は後ろに止まるつもりで、ウインカーを出して
真横と右後方を確認の後追い抜きましょう。

停車車両やバスの停留所での停車の対応も同様です。
停止する場合は2台分車間を開けて停止しましょう。

1台ずつ入って障害物をよける



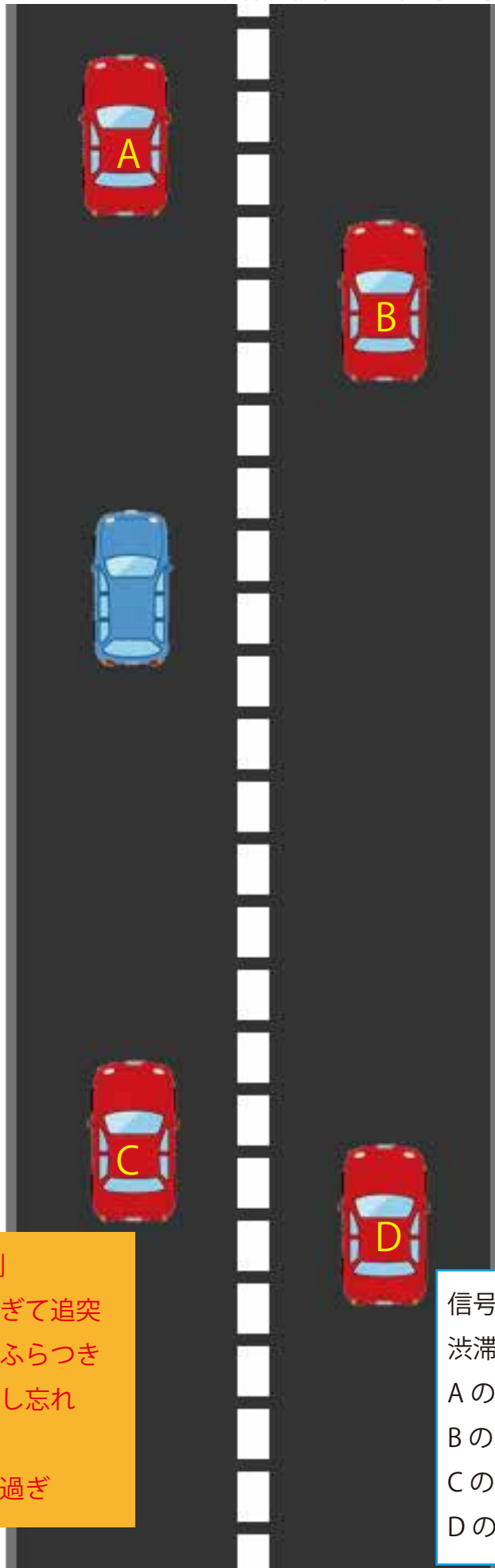
障害物の対応

右側のレーンの車両に速度を合わせ、ウインカーを出し
車両の真後ろにくっつくイメージで、
1台ずつ入っていく。
障害物を追い越したら左レーンに戻る。

右レーンの車両との速度と車間距離が重要なポイントです。

二車線走行（車線変更）

車線変更の基本的な手順



①前方の確認

信号や車の流れ（渋滞）
障害物
車線変更のスペース

②ウインカー

自己アピール
後続車への意思表示
入る時ではなく最初から
出すことが自分を守ってくれます。

③安全確認

ルームミラー
サイドミラー
目視の順で状況把握
後方に車両がいる時は
前方をメインにみて、サイドミラーは
チラ見を心がけましょう。
見ている間もセンターキープ
速度に注意（流れに乗る）

④車線変更

目視が終わってから緩やかに入る。
急ハンドルを切らない

よくある悪い例

- ・ミラーを見すぎて追突
- ・安全確認中のふらつき
- ・ウインカー戻し忘れ
- ・急ハンドル
- ・アクセル戻し過ぎ

信号が赤になっていませんか？

渋滞していませんか？

Aの車がウインカーを出していませんか？

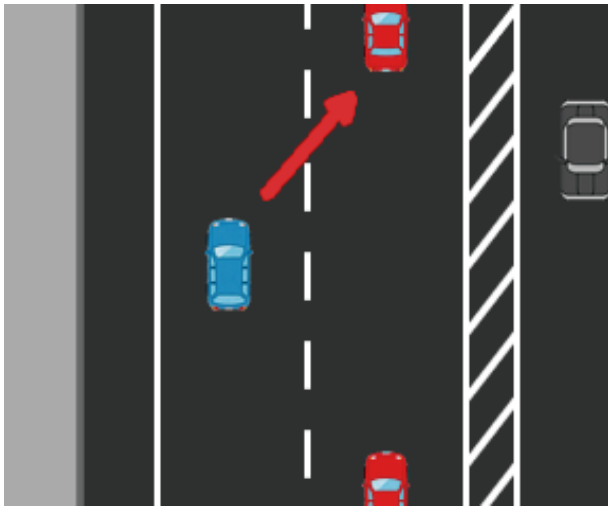
Bの車が左に車線変更行っていないですか？

Cの車が車線変更行っていないですか？

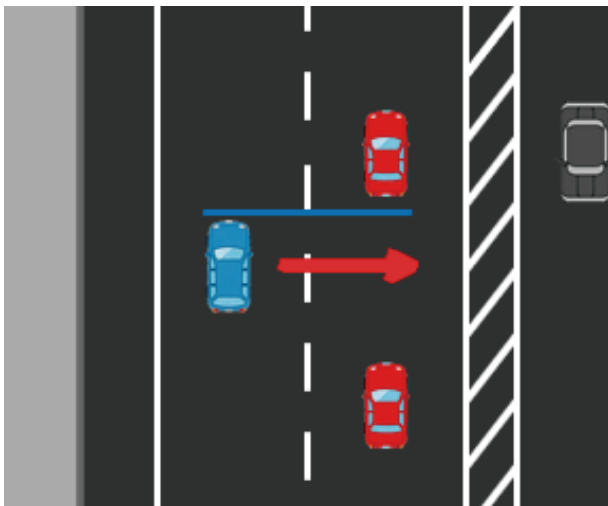
Dの車が速度を出していませんか？

二車線走行（車線変更応用）

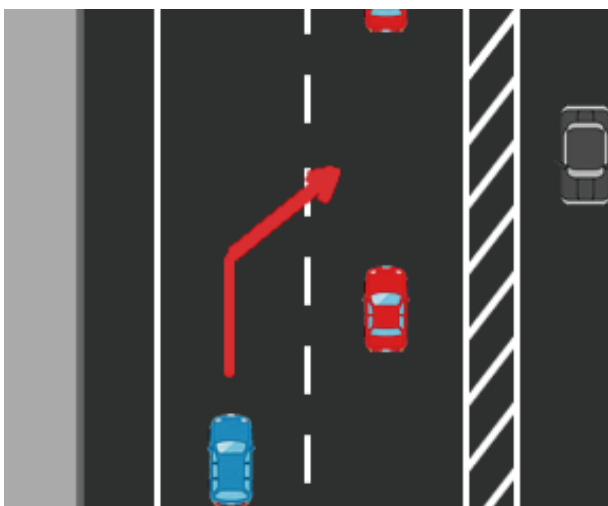
車線変更の例



車両の流れが安定していて
隣のレーンの前後の車両の車間距離が
十分に空いてる時は、流れに乗ったまま
基本手順通りに車線変更する。
前の車両に追い付いていく速度がポイント



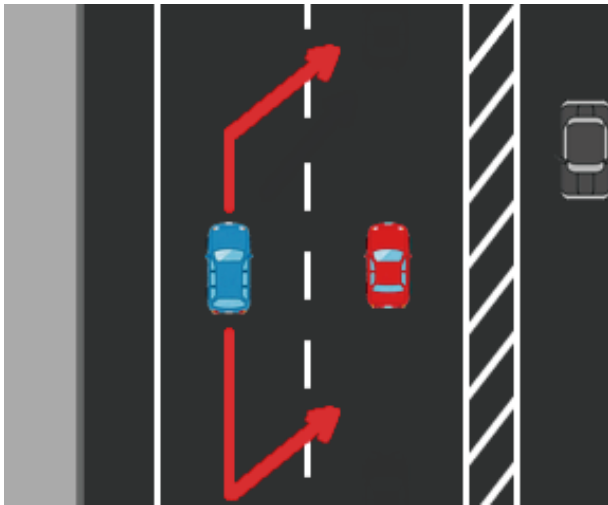
車両の数が多く隣のレーンの前後の車検距離が
狭い場合は
前の車に速度を合わせ真後ろに入れる位置
について基本手順通りに
車線変更する。



前方の確認時に遅い車両がいたら
その車両を追い越して、1台分車間が開いてから
基本手順通りに車線変更する。
一瞬の速度超過は気にせず車線変更を行った方が
安全な時もあります。
前方なら車間距離の目測がつきやすいです。

二車線走行（車線変更応用）

車線変更の例

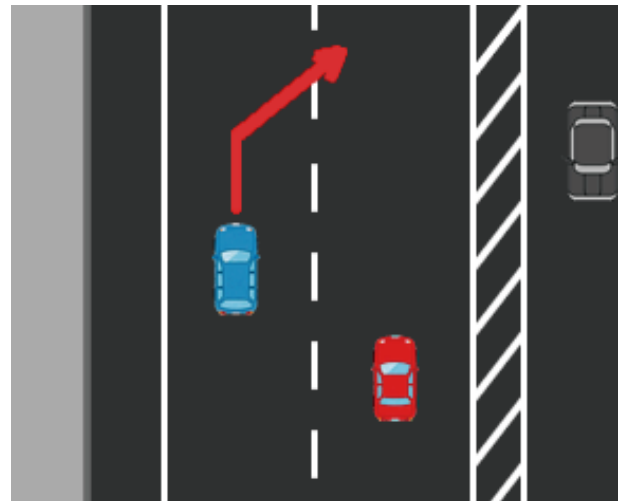
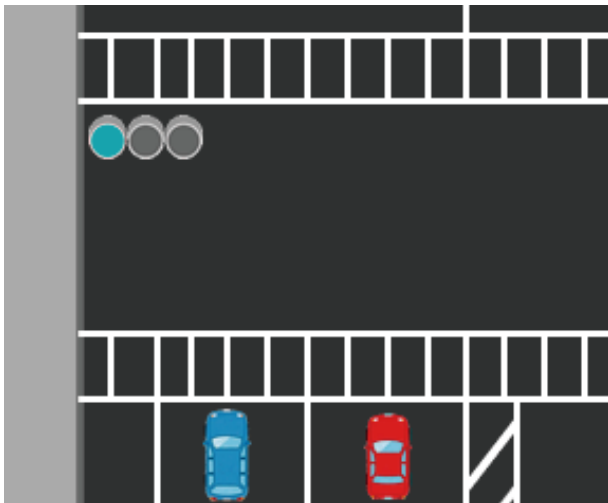


真横に車両がいたときは
前方に加速できる車間があれば加速して、
1台分空いた所で基本手順通りに車線変更する。

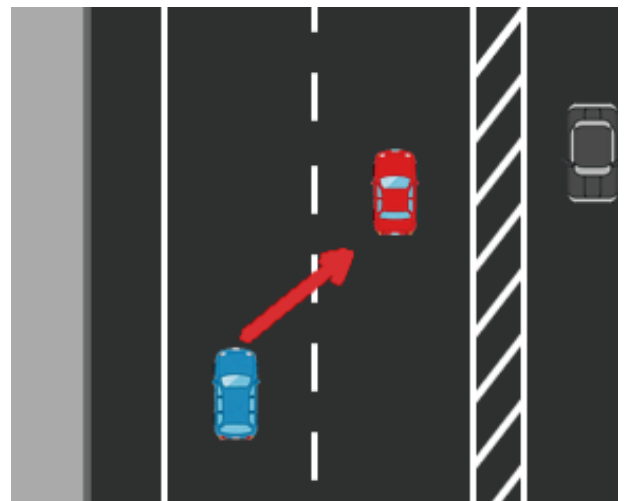
または、減速して加速しながら、基本手順通りに
真後ろに入る様に車線変更する。

信号機をうまく使う

加速しながら隣の状況をうかがう



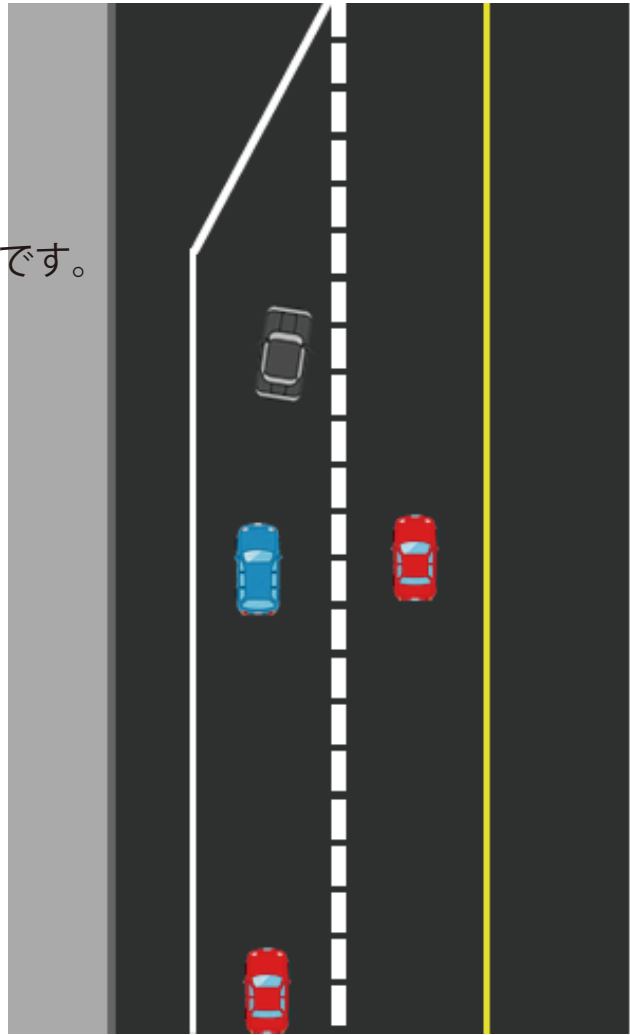
遅い感じなら加速し続けて前に入る



早いようなら追いつく感じで加速しながら
後ろに入る

二車線走行（合流）

太くて短い点線が
合流を区別する車線です。



合流する側

加速車線でしっかりアクセルを
踏み込んでいきましょう。

真横より前にいたら減速して
加速しなおしてから合流する。

自分の方が少しでも前に出たら
さらに加速してから合流しましょう。

車両が混雑していたら
1台ずつ入る車線変更を使いましょう。
ミラーばかり気を取られて2車線分
合流してしまうパターンがよくありますので
気を付けましょう。

本線側

合流車両がいることを早く発見する
前にいたら入れてあげますが、
入れてあげた車両の後ろに
追い付くイメージで加速も必要です。

合流車両の速度を把握する。
加速した方がよいのか、
減速して入れてから加速するのか、
見極めが大事です。
合流車両がいたらブレーキというのは
事故につながります。
いち早く発見し速度を早く見極め
対応していきましょう。
必要に応じて右レーンに車線変更しましょう。

譲り合いがとても大事ですが、急ブレーキはしないようにしましょう。